

**令和4年度**

**第2回岡山県地区防災計画等作成推進協議会**

**説明資料**

**令和5年3月17日**

**岡山県地区防災計画等作成推進協議会事務局**

**(岡山県危機管理課)**

## 岡山県地区防災計画等作成推進協議会

構成メンバー 岡山県・県内27市町村

事務局 岡山県危機管理課



<部会の動き>

- ①部会へ協議会アドバイザーを派遣
- ②計画作成に向けた議論
- ③実績報告



<協議会の動き>

- ①連携(報告会等の開催・意見交換)
- ②情報共有・事例を横展開

<各地区部会>

令和元年度

津山市城西地区、備前市片上地区、和気町田ヶ原地区

令和2年度

高梁市有漢地区、勝央町畑屋地区、美咲町塚角地区

令和3年度

笠岡市金浦地区、和気町宮田地区、矢掛町美川地区

令和4年度

倉敷市五福地区、玉野市広木地区、里庄町殿迫地区

※下線が個別避難計画の作成に取り組む（玉野市広木地区は地区防災計画と個別避難計画の両計画に取り組む）

## [防 災]



◆香川大学 四国危機管理教育・  
研究・地域連携推進機構  
地域強靱化研究センター  
特命准教授 磯打 千雅子 氏  
(担当：倉敷市五福地区)



◆日本防災士会岡山県支部  
運営幹事 神田 敬三 氏  
(岡山県支部 前支部長)  
(担当：玉野市広木地区)



◆城西まちづくり協議会（津山市）  
事務局長 佐々木 裕子 氏  
(担当：里庄町殿迫地区)

## [福 祉]



◆駒澤大学  
文学部社会学科 社会福祉学専攻  
教 授 川上 富雄 氏  
(担当：玉野市広木地区)



◆ノートルダム清心女子大学  
人間生活学部人間生活学科  
准教授 中井 俊雄 氏  
(担当：里庄町殿迫地区)

# 令和4年度岡山県地区防災計画等作成モデル事業

## ○モデル地区概要

市町村	地区名	作成主体	人口	世帯数	作成計画	ハザード	部会 開催数
倉敷市 (水島)	五福地区	五福学区防災協 議会	4,211人	2,441世帯	地区 防災計画	浸水想定区域（洪水・津波） 土砂災害警戒区域（急傾斜） 南海トラフ巨大地震 最大震度6弱想定	3回
玉野市 (八浜)	広木地区	広木地区自主防 災会	342人	103世帯	地区 防災計画 ・ 個別 避難計画	浸水想定区域（津波） 土砂災害警戒区域（土石流・急 傾斜） 南海トラフ巨大地震 最大震度6弱想定	5回
里庄町 (里見)	殿迫地区	殿迫分館自主防 災会	565人	229世帯	個別 避難計画	浸水想定区域（洪水） 南海トラフ巨大地震 最大震度6弱想定	4回

# 倉敷市五福地区（令和4年度）

## <地区概要>

- 人口：4,211人（世帯数：2,441世帯）
- 作成主体：五福地区防災協議会
- 作成計画：地区防災計画

## <モデル地区としての取組>

- 部会開催：3回
- 取組経過

★部会以外で中心メンバーが定期的集まり、運営スタッフミーティングを重ねながら、進め方や今後の方向性を随時確認・共有。共有をしやすいするため、全体行程表を作成し、取組の可視化を実施（市職員、地区、防災士の会が連携した丁寧な進め方が印象的）

★くらしき防災士の会（水島地区）による取組支援

●災害リスクの確認と強みや弱みを分析（地区の現状把握）

- ・計画に盛り込むべき項目を整理（県内外の計画を参考）
- ・防災まち歩きと防災マップの作成（若い世代も参加）
- ・緊急連絡網を使用した伝達訓練

★地区全体の取組成果報告会を開催（若い世代が積極的）

- ・地区防災計画（素案）の取りまとめ



防災士とともにハザードを確認する様子



防災まち歩きと防災マップ作成の取組を発表する様子



## <地区概要>

- 人口：342人（世帯数：103世帯）
- 作成主体：広木地区自主防災会
- 作成計画：地区防災計画・個別避難計画

## <モデル地区としての取組>

- 部会開催：5回
- 取組経過

★個別避難計画の作成に着手し、その後、地区防災計画を作成する流れを進める（要支援者の避難支援の検討結果を地区防災計画につなげる（始まりは小さく））

●災害リスクの確認と強みや弱みを分析（地区の現状把握）

- ・タイムラインの検討（ワークショップ形式）
- ・個別避難計画の作成に向けた要支援者からの聞き取り
- ・要支援者本人とご家族を交えた関係者による地域調整会議を開催
- ・国の示す手順に沿って、要支援者1名分を計画作成
- ・防災まち歩きと防災マップの作成
- ・市防災訓練に併せた独自の防災啓発イベントの実施
- ・地区防災計画（素案）の取りまとめ



参加者全員でタイムラインを検討する様子



まち歩きの実施後に情報を整理し、防災マップを作成する様子

## <地区概要>

- 人口：565人（世帯数：229世帯）
- 作成主体：殿迫分館自主防災会
- 作成計画：個別避難計画

## <モデル地区としての取組>

- 部会開催：4回
- 取組経過

- ★意欲ある自主防災会が参加し、ともに学ぶ場の設定
- ★行政の取組に対する思いを伝えるためにも、地区と対話を重ねながら丁寧に進める
- 災害リスクの確認と強みや弱みを分析（地区の現状把握）
  - ・タイムラインに関する勉強会の開催
  - ・計画作成を優先する対象者の選定
  - ・個別避難計画の様式の検討
- ★要支援者からの聞き取りをシミュレーション
  - ・要支援者からの聞き取り及び地域調整会議の開催
  - ・避難訓練の実施
  - ・国が示す手順に沿って、要支援者5人分を計画作成。  
町防災訓練に併せて避難所開設訓練と避難訓練を実施し、  
計画の実効性を検証



消防団とともに地区の課題を洗い出す参加者の様子



参加者がそれぞれの役に扮し、要支援者からの聞き取りをシミュレーションする様子